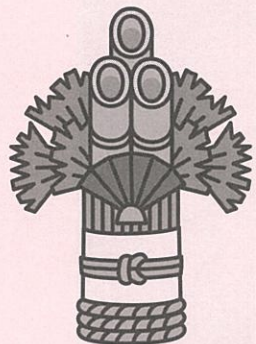


# 2015 いのち輝く新春のつどい



平和が脅かされ、「川上から川下へ」と社会保障の切り崩しが急速にすすめられ、憲法が保障する「平和」「いのち」「人権」がないがしろにされています。～一人ぼっちをつくらない～運動を広げ、地域の皆さんと手を携え、いのち輝く社会の実現を。



2015年1月10日(土) 午後2時～

場所：寝屋川市総合センター2階 講堂



■記念講演【略歴は裏面に掲載】

池田香代子さん

【今こそ、憲法を考えよう】

著書「世界がもし100人の村だったら」など多数。テレビのコメンテーターとして出演するなど、マスメディアにも多数出演。協同組合や教育委員会、医療施設などで講演するなど、幅広く活躍中。

## プログラム

14:00～ オープニング

「チーム13」(Andyエアロ)

長野たかし&森川あやこ コンサート

15:20～ 池田香代子さんの記念講演

17:00 終了

お楽しみ  
抽選会

参加費

組合員 100円  
非組合員 500円

京阪バス寝屋川市駅西口1番のりば④系統

「京阪守口市駅行き」乗車

「総合センター東口」下車



13:00～ 会場までのピストン運行をします。  
ご利用ください  
(寝屋川市駅西口)



# 主な出演者のプロフィール

## ESD-J「国連持続可能な開発のための教育の10年」

推進会議顧問 池田 香代子さん



2001年9月11日、アメリカで起こった大惨事。それを機にアメリカがアフガニスタンに侵攻したことを受けて、『世界がもし100人の村だったら』を出版し、人々の“平和を願う”意識を呼び起こしベストセラーとなる。

その印税で「100人村基金」を立ち上げ、NGOや日本国内の難民申請者の支援を行っている。その他、『ソフィーの世界』をはじめとする翻訳家としても活躍する。講演では、地球環境、教育、共同参画社会、世界平和など、グローバルな視点から、具体例を交えて、分かりやすく伝える。私たちが、今、何をすべきなのかを気づかせてくれる講演である。

### 【憲法を考える】

「100人の村から憲法が見えた」「世界がもし100人の村だったら」のイメージCD（ユニバーサル）は、「イマジン」（J・レノン）に始まる。そこにこめられた驚くべきメッセージが、明日の世界を照らし出す。憲法はなにを語る？その来歴は？押しつけられたというのは本当？護憲改憲を越えて、ひとりひとりが虚心に憲法と向き合い、子孫になにを手渡すべきかを考える時がきている。

1948年東京に生まれる。

1976年東京都立大学人文学部独文学科卒業後、夫と子どもとともに、エアランゲン大学（旧西ドイツ）へ留学。帰国後、翻訳、著作活動をはじめ。また、早稲田大学、中央大学等で講師を務める。

1998年『猫たちの森』（早川書房）で第1回日独翻訳賞を受賞



長野たかしさん（歌&ギター、ベース）（左）



森川あやこさん（長野綾子/歌）（右）

「高石智也」のバックバンド「フォークキャンパーズ」ベーシストとしてプロデビュー。「五つの赤い風船」（ヒット曲「遠い世界に」）、「IMOバンド」、「豊田勇造」などのベースや、「岡林信康」、「高田渡」などの多くのフォークミュージシャンのレコーディングサポートを勤める。障害者のボランティアをしながら子供向けのバンドを結成し、幼稚園や小学校での公演活動。NHK教育TV養護学級向け学校放送番組「たのしいきょうしつ」に番組出演、7年間番組に携わっていました。

「森川あやこ（本名・長野綾子）」と共に、劇団MOMOを結成して、全国の幼稚園、小学校などでの出張公演を精力的に行なっています。また、曹洞宗ボランティア会（現・社会福祉法人国際ボランティア会）と共に、「劇団ざ・だんま」として、タイ難民キャンプやスラムでの図書運動に協力し、着ぐるみ劇公演やワークショップを行い、国際的にも活躍しています。

